

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskkg.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1019号
2006年12月24日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◆教役者レクイエム

1月17日(水)午前10時半
主教座聖堂で

説教司祭 下条裕章

▽司祭森堯道▽司祭前島潔▽主教ケネス・テボット▽ヴァイアル▽司祭小島茂雄▽司祭竹田真二▽司祭福島國五郎▽司祭細貝岩夫▽司祭柳原光▽司祭レイモンド・ハンマー▽司祭横地謙▽主教黒瀬保郎

◆としえの平安

5月3日	江川 光枝 (94)
11月24日	高岡 穂子 (83)
11月27日	鈴木 美智子 (81)
12月12日	白井 俊勝 (85)

清瀬聖母 東京諸聖徒 東京諸聖徒 聖愛

12月14日 豊田 光弘 (68) 目白
12月16日 増子 藤穂 (65) 聖ヨハネ

▽聖路加国際病院礼拝堂の恒例「オルガンコンサート・夕の祈り」が1月10日(水)18時半、19時から行われる(1月は第2水曜日)。演奏者は松原晴美。入場無料(会場献金)。

◇ランチタイムコンサート

1月(30分程) 度・入場無料)
・聖パウロ
12日(金) 12時20分、オルガン豊田まりも
聖テモテ

今週・来週の予定

12月24日~1月20日

24(日)	降臨節第4主日 主教巡回 東京聖三一教会
25(月)	降誕日 主教巡回 三光教会
31(日)	降誕後第1主日
1月	
1(月)	主イエス命名日
12(金)	広報委員会
15(月)	礼拝音楽委員会
16(火)	教区企画室
17(水)	教役者レクイエム (主教座)
18(木)	聖職養成委員会
19(金)	幼稚園委員会
20(土)	聖職按手式(主教座)

16日(火) 12時30分、オルガン
大森里美
・神田キリスト 17日(水) 12時20分、オルガン 早島万紀子
【教区事務所休業】 12月30日(土)~1月6日(土) *開業は休日の関係で9日(火)から
【本紙の休刊】 12月31日号・1月7日号・14日号 *復刊は21日号より

(この用紙は再生紙を使っています)

イエスの誕生物語には、良く知られているようにマタイ版とルカ版があります。ルカ版では、イエスの誕生は、少数の何人かの限られた人々のサークルの中で、喜ばれ、祝福され、その栄光が人々に伝えられてゆきます。

それに較べマタイ版は、はるばる東方からの占星術士者を登場させ、時の権力者へロデ王も一役買、しかも宇宙の星の異変まで伝えて、イエスの誕生が、(ルカ版のように)限られた人々にだけ認知されたというのではなく、まさにグローバルで宇宙的な出来事として描き出されています。救い主の誕生そのものが、権力者の陰謀や暴力(赤ん坊の殺りく)さえも引き起こしたと伝えています。イエス誕生のその裏には、大きな苦悩と悲しみがあつたのだ、と言っているようです。

《クリスマス・メッセージ》

救い主誕生の光と影

主教 植田 仁太郎

今、現在のベツレヘムを想い出します。イスラエル軍によって封鎖されていますので、巡礼の人々も簡単には訪ねられません。ベツレヘムの町のパレスチナ人も自由に町から出られませんが、観光客の激減で生活の立ちゆかない人々が沢山おられます。イエス誕生の地は、世界の他の地域でのクリスマス喜びの陰で、深い苦悩の中にあります。マタイ版誕生物語にリアリティーを感じます。

救い主の到来とは、暴力と苦悩に満ち満ちたこの世界のまったた中に、秘かに起るものなのでしょう。しかしその到来こそが、イエスの生涯が人々と世界に残した刻印のように、この世界にまぎれもない救いの種をまいてゆくのでしょう。そして、さらに苦難をおして復活の実りへと導かれます。

(東京教区主教)

【学びと働きから】27
個々を尊重、多様な働き

11月の信徒講座「聖公会の神学・宣教と公共性(講師・西原廉太司祭)」では、16世紀の神学者リチャード・フツカーに始まり、聖公会が素晴らしい神学を持っていたことを知る事ができました

た。個々を尊重しつつ、社会的責任を自覚し積極的に働く、という「公共性」です。
その神学が人間世界の歴史に大きな働きをなし得てきたかどうかはさておき、必ずや根気よくあきらめずにその信仰に生き、先輩達が延々と続いたに違いないと思えます。これほどの感

動があるでしょうか？

東京教区でもまず現場の各教会、教区の様々な委員会、自主的なグループの働き等が宣教を担っています。正に個々を尊重しながら社会的責任を自覚し、教会から世界へと派遣されてゆくことを目指していると言えるでしょう。

目先の成果が見えなくても、「御心になつた人間の働きはそれがいかに小さくとも神様の働きの歴史に必ずや一步を刻む」ことを確信するものです。どの働きが最も大切かは神様に聴くしかないのです、人間は云々しなくていいのでは？ 降臨節を迎えたこの時、神様から与えられた自分の命と他者の命、大切に生かし合うことができますように、と祈ります。

教区宣教主事 宮脇博子

公示

神のお許しがあれば、下記のように聖職按手式を執り行い、執事シモン・ペテロ上田憲明、執事ハンナ石坂みゑ子、執事ビード李民洙、執事グレース神崎和子を公会の司祭に叙任いたします。

主にある諸教会のご加禱とご臨証をお願い致します。

救主降誕 2006年12月20日

日本聖公会東京教区主教
主教 ペテロ 植田仁太郎

記

日時：2007年1月20日(土)
午後2時
会場：日本聖公会東京教区
聖アンデレ主教座聖堂
祭色：赤を用います。

【教会グループ協議会報告・今年の活動から】

6 多摩

今年には各教会の活動が中心になり、「協働」するようになり、ありませんでした。聖堂建設2周年(八王子)、10周年(聖パトリック)、20周年(小金井)など記念礼拝や様々なプログラムが展開されました。あるいは創立50周年・百周年を準備する時として今年が用いられたようです。これは多摩グループの各教会が一つの区切りの年を記念するために、今までの教会の働きを省みつつ、新しい宣教の準備をするという試みであったということでした。

とくに小金井は今年1年間、様々な形で聖堂奉献20周年を記

念しました。タバナクルの奉献、「小金井聖公会」の看板を作り、会館の中に書棚を作り、合同キャンプを行いました。また渡辺和子シスター講演会、記念礼拝、記念誌の発行など盛り沢山の礼拝と行事を行っています。植栽計画を実行するなど、小金井聖公会の内外が新しい姿になったようです。

八王子は人事異動で鈴木司祭から田光司祭、大森明彦聖職候補生の司牧体制になり、2年目を迎えます。他方、聖マルコ教会では、年に2回のバザーはキツイ!と思いつつもまた来年の計画を進めております。

多摩教会グループから「メリークリスマス!」

幹事・聖マルコ教会 司祭前田良彦

▽聖公会神学院の短期集中講座

講座が明年1月22日(月)〜25日(木)に開講される。講師はケネス・リーチ英国聖公会司祭、「スピリチュアリティのこれまでに・いま・これから」。宿泊参加のほか通学聴講も可。ただし宿泊定員は8人(女性3・男性5、先着順)。費用その他詳細照会は同院宛に、電話03(3701)0575。申込締め15日、先着順。

▽五本木九条の会「憲法を学ぶ」

第11回講演会は「強制・管理が進む公立学校保護者はどうのように向き合ったか」、話手森田信也(元都立戸山高校PTA会長・前全日本公立高等学校PTA連合会理事・東京聖三一教会信徒)で。1月24日(水)18時半〜20時半、聖パウロ教会。